

がんばる組合80選

# 令和元年度 組合資料収集加工事業

全国中小企業団体中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、知識や経験、ノウハウの移転・活用につなげることを目的に、全国の都道府県中小企業団体中央会と連携し、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っています。

令和元年度は、「積極的な情報発信」「外部との連携」「社会貢献・SDGs」「特徴ある活動」の4テーマを取り上げ、80組合の活動事例のエッセンスを「先進組合事例抄録」としてとりまとめました。

本稿では、全国の取り組み事例（一部）と本会から取り上げた組合（次項）を紹介します。

## 全国の取り組み事例（一部）

### 〈テーマ1〉積極的な情報発信（抄録では下記組合を含め18事例を紹介）

#### ○愛媛県繊維染色工業組合（愛媛県今治市）

当組合は、繊維製品の製造過程になくなくてはならない工程を担っているが、分業構造の中、染色は極めて高い技術を持ちながらも下支えとしての位置づけに甘んじてきた面は否めなかった。知名度が低く人材不足も深刻な状況を打破すべく、行政を巻き込んだ勉強会を重ね、「今治カラーショー」を開催するなど、その存在感を強くアピール。これにより外部への染色業界の認知度向上、内部的には組合員の団結やモチベーションアップに効果をあげている。

### 〈テーマ2〉外部との連携（抄録では下記組合を含め15事例を紹介）

#### ○甲府ホテル旅館協同組合（山梨県甲府市）

甲府市内の観光推進上で大きな課題である二次交通（市内の近距離移動）手段の確保のため、環境に優しく気軽に市内や観光地を周遊できる交通手段を提供し「おもてなし」を実現する一つの方法として、甲府市と連携した「レンタサイクル事業」を開始。併せて観光情報などの発信を行い、観光地としての魅力向上を図った。

### 〈テーマ3〉社会貢献・SDGs（抄録では下記組合を含め19事例を紹介）

#### ○兵庫県電設資材卸業協同組合（兵庫県神戸市）

一般消費者には馴染みの薄い業界であることから、組合の認知度向上が課題。兵庫県からの要望をきっかけに、こども食堂へLED照明を提供するプロジェクトを立ち上げ、電材メーカーや電気工事組合との協力により実施。地元メディアから取り上げられたり、他の子ども食堂から問い合わせがあったりと認知度は徐々に高まっている。

### 〈テーマ4〉特徴ある活動（抄録では下記組合を含め28事例を紹介）

#### ○金沢木材協同組合（石川県金沢市）

組合員が個別に外注していた構造計算を組合内で一元化。安全品質追求におけるスピード化、省力化を図ることで付加価値の向上につなげている。

# 夜間託児所の開設で、働き手に優しく、働きやすい環境づくりの実現

## 伊香保温泉旅館協同組合

[テーマ：社会貢献・SDGs]

|         |   |         |         |
|---------|---|---------|---------|
| 住 所     | 〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保541番地の4  |         |         |
| U R L   | <a href="http://www.hotels-ikaho.or.jp/">http://www.hotels-ikaho.or.jp/</a> |         |         |
| 設 立     | 昭和26年11月  | 主 な 業 種 | 旅館業     |
| 組 合 員 数 | 41人   | 出 資 金   | 5,919千円 |

### ■背景・目的

労働力不足が深刻化している旅館業において、人員不足で予約を断るケースや休館日を設けるケースが現れてきた。育児中の従業員が安心して働けるように、当組合は市と協力して夜間託児所を開設した。「働き手に優しく、働きやすい環境づくり」を実現し、雇用の拡大・離職率の低減・働き方改革の推進を目的とした事業に取り組んでいる。

### ■取組みの手法と内容

本事業の夜間託児所が開設されて運営が開始されたのは、平成30年4月である。事業アイデアが発案されたのは、それより2年前、当組合の前理事長と地元渋川市の市長との会合の場であった。

社会的には民間企業や病院施設などで自社が運営する託児所が開設される事例は散見されるようになったが、旅館が独自に託児所を開設することや、アウトソースして環境整備するケースはなかった。旅館が従業員のために託児所を設ければ、女性活躍の機会創出に寄与し、働き方改革の推進に有効であるものの、個々の旅館が託児所を運営するノウハウは無かった。そこで、当組合は組合員とその従業員の満足度向上のために、組合事業の一環として夜間託児所を開設することを前理事長のリーダーシップの下で方針決定した。

託児所開設に向けては施設の確保と、保育従事者となる保育士や看護師等の有資格者の確保が必要となるが、市との度重なる検討を経て、渋川市が管理する世代間交流館を安価で借りることができ、低コストで事業を開始することができた。加えて、群馬県看護協会や群馬医療福祉大学の協力の下、有資格者には本事業に理解のある70歳代の看護師を採用することができたため、利用者の有無により柔軟な事業運営ができています。

本事業は組合の実情に合わせた事業規模で、実行できるところから始めるスモールサービス方式とし、事業を開始して1年半が経過したが、今後の長期的な事業継続に向けて体制強化に取り組んでいる。

### ■成果とその要因

託児所の開設日は期初に年間計画を決め、各月末までに翌月の募集を行い、直前であっても旅館の繁忙状況に合わせて柔軟に応じている。有資格者である保育従事者が現在1名のために都合がつかない日もあり、利用日数はまだ少ない。有資格者の確保と体制強化が事業継続に欠かせないが、本事業自体の認知度も高まり、事業開始時に比べ、組合員や行政等からの協力が得られやすい環境が整ってきている。



施設外観



託児所内の様子



Point

労働力不足が深刻化している旅館業界で、行政からの協力を得て、組合が夜間託児所を開設、運営し、組合員とその従業員に「働きやすい環境づくり」を実現した。